

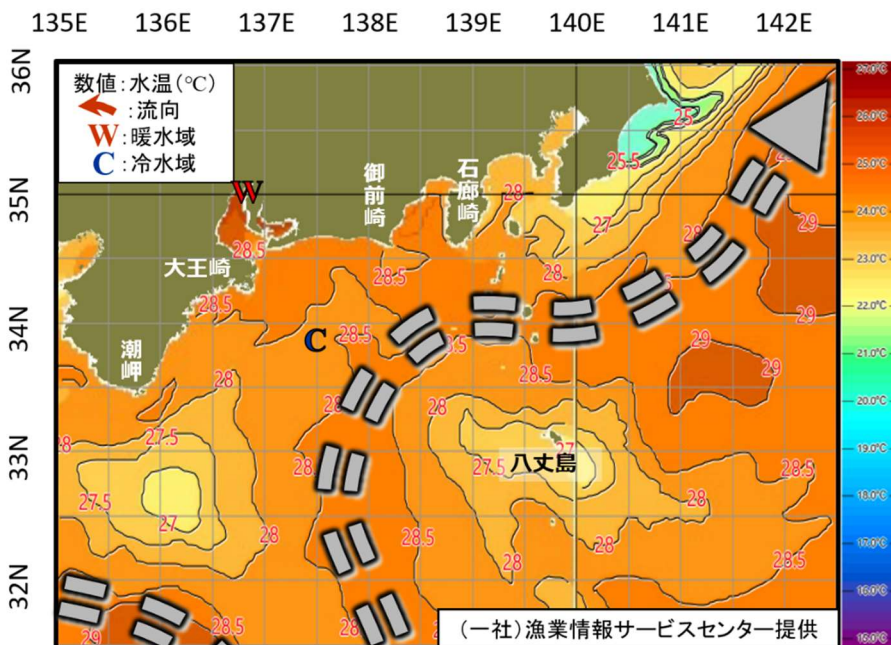
## < 黒潮流路 >

9月7日の人工衛星画像によると、黒潮は御前崎沖北緯31度付近から御前崎沖北緯33度付近を通過するAs型流路となっています。

## < 渥美外海の状況 >

遠州灘沖は接近する黒潮の影響により高水温傾向が続いています。一方で、潮岬沖に分布する冷水渦の影響により、熊野灘周辺の表層水温は比較的に低くなっています。気象庁によると今後も大蛇行流路が継続される予報ではあるものの、流路変動に影響する黒潮流量の指標となるトカラ海峡（名瀬－西之表）の潮位差が著しく高い水準で推移していることや、足摺岬への接岸、常磐沖での離岸などから黒潮流路が不安定になりつつあるとみられ、流路変動の予兆がうかがえます。

## 9月7日の水温分布と黒潮流路（詳細図）



## 9月7日の水温分布と黒潮流路（広域図）

